

コロナ + インフルエンザ  
ウイルス ウイルス

# 2種のウイルス抗原が同時に測れる

小林製薬のコロナウイルス抗原+インフルエンザ抗原同時検査キット

## エスブライン® SARS-CoV-2&Flu A+B(一般用)

エスブラインは富士レビオ株式会社の登録商標です。

### キットの内容 検体採取方法

販売名 エスブライン® SARS-CoV-2&Flu A+B(一般用)

第1類医薬品

一般用検査薬



\*使用者向け使用の手引より、内容を抜粋しています。\*この検査薬は、薬剤師から説明を受け、「使用上の注意」をよく読んでお使いください。

- 検査結果から自分で病気の診断をすることはできません。  
(添付文書内に記載の「新型コロナウイルス抗原検査の使用について」に従ってください。)
- 検査結果が「陽性」の場合は適切に医療機関の受診等を行ってください。
- 検査結果が「陰性」であっても症状がある場合には、適切に医療機関の受診等を行ってください。



使用方法は  
こちらの2次元コードより  
動画でもご確認ください。

### キットの内容 2回分が入っています

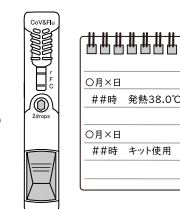


#### 【内容】検査キット 2回分

- 反応力セット.....2個
- 検体処理液(スクイズチューブ).....2個
- 滅菌綿棒.....2本
- 滴下チップ.....2個

### ご使用の前に

本キットの結果を医療機関等に提示する場合も考慮して、  
「症状が出た時刻」、「本キットを使用した時刻」をメモした紙と一緒に  
判定部分の写真を撮影することをおすすめします。



### 検体の採取方法 鼻腔から採取するタイプです。

#### 鼻腔から 採取する

- ①キット付属の滅菌綿棒を、  
鼻孔入り口から**2cm程度**、ゆっくり挿入します。 **2cm程度**
- ②滅菌綿棒を**5回程度ゆっくり回転**させます。
- ③**5秒程度静置**し、そっと引き抜きます。



コロナウイルス + インフルエンザウイルス

# 2種のウイルス抗原が同時に測れる

小林製薬のコロナウイルス抗原+インフルエンザ抗原同時検査キット

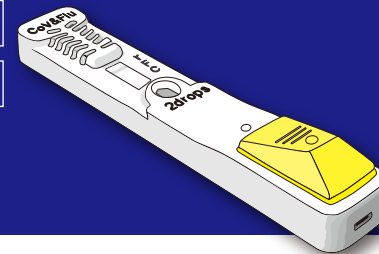
## エスプライン® SARS-CoV-2&Flu A+B(一般用)

エスプラインは富士レビオ株式会社の登録商標です。

販売名 エスプライン® SARS-CoV-2&Flu A+B(一般用)

第1類医薬品

一般用検査薬



### 操作・判定方法

検体処理液、反応カセットはアルミ袋のままで、20～37℃に戻してから使用ください。

#### 検体の処理方法

スクイズチューブを軽く振って、トップシールに付着した検体処理液を落としてから始めてください。

① トップシールをはがす。



② 綿棒をスクイズチューブに浸し検体を抽出し、綿棒を取り出す。



1. スクイズチューブの外側から綿棒を挟みもみながら、綿棒を10回程度回転させる。
2. その後、スクイズチューブを押さえて綿棒から液を搾り出しながら綿棒を取り出す。

・ビニール手袋の装着は必須ではありません。

③ スクイズチューブに滴下チップをはめる。



④ 1cm以上、上から、検体滴下部に2滴、滴下する。



注意！  
1. 検体滴下部外にこぼさない。  
2. 検体滴下部に近づけすぎない。

⑤ 黄色のボタンを押す。  
20分後に判定。



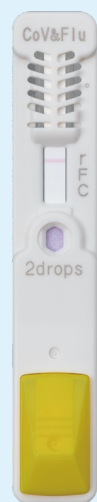
凸部が凹んだ状態になったことを確認！

20～37℃で20分間水平に静置し、反応を行います。

#### 判定方法

レファレンスライン(rライン)が青く発色することで、反応が正常に行われたことを確認することができます。

\*示した写真は判定例です。



判定部

検体滴下部

20分後

凸部

●20分で判定を実施してください。20分判定時点では「陰性」でその後「陽性」となった場合は、「陰性」と判定してください。

#### 判定例

r:レファレンスライン  
F:インフル判定ライン C:コロナ判定ライン

##### SARS-CoV-2抗原陽性



r・C判定ライン出現。  
新型コロナウイルス抗原が検出されました。

##### インフルエンザウイルス陽性



r・F判定ライン出現。  
インフルエンザウイルス抗原が検出されました。

##### インフルエンザウイルス及びSARS-CoV-2両陽性



r・F・C判定ライン出現。  
インフルエンザウイルス抗原及び新型コロナウイルス抗原が検出されました。

##### 陰性



r判定ラインのみ出現。

#### 再検査



①rのところに青のラインが出現しない。



②反応前の状態。(ラインピンク)

本キットや検体採取に使用した綿棒などは家庭ごみとして各自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。使用後の綿棒等は感染性を有するおそれがありますので、廃棄時の取扱いには十分注意し、使用したキット(綿棒、チューブ等を含む)をゴミ袋に入れて、しっかりしばって封をする、ごみが袋の外面に触れた場合や袋が破れている場合は二重にゴミ袋に入れる等、散乱しないように気を付けてください。

\*使用者向け使用の手引より、内容を抜粋しています。

\*この検査薬は、薬剤師から説明を受け、「使用上の注意」をよく読んでお使いください。